

「書道 I」

書 I 701

教師用指導資料

原寸大サンプル集

Dマイスター（指導者用デジタルコンテンツ集）

- 学習用手本・練習用紙
- ワークシート



Dマイスター（指導者用デジタルコンテンツ集）



ワークシート

目次

学習用手本・練習用紙

漢字の書 牛概造像記 和楽	2
漢字の書 蘭亭序 天朗氣清	3
仮名の書 平仮名の単体	4
書写から書道へ 常用漢字表（楷書）	6

























ワークシート

漢字の書 楷書 表現を比べよう	7
漢字の書 楷書 九成宮醴泉銘 (1)	8
漢字の書 楷書 九成宮醴泉銘 (2)	9
生活に広げる 改まった場面で (1)	10
生活に広げる 改まった場面で (3)	11
創作カード	12

※ワークシートは、「Dマイスター（指導者用デジタルコンテンツ集）」にも、PDF形式とWordデータ形式で収録しています。

和樂

天朗氣清

川		和		止		以	
禰 (祢)		加		知		呂	
奈		与		利		波	
良		太		奴		仁	
武		礼		留		保	
字		曾		遠		尸 (部)	

名前	
年	
組	
番	

恵		左		計		為	
比		幾		不		乃	
毛		由		己		於	
世		女		衣		久	
寸		美		天		也	
无		之		安		未	

名前	
年	
組	
番	

Y	X	W	V	U	T	S	R	Q	P	O	N	M	L	K	J	I	H	G	F	E	D	C	B	A
寒	完	轄	顎	較	垣	外	繪	會	牙	過	河	下 ^カ	憶	押	鉛	延	衛	運	飲	茨	意	威	嵐	あ行
喚	肝	且	掛	隔	柿	効	開	快	瓦	嫁	苛	化	臆	旺	塩	沿	易	雲	隱	芋	違	為	安	亜 ^カ
堪	官	株	瀉	閣	各	害	階	戒	我	暇	科	火	虞	欧	演	炎	疫	永 ^カ	韻	引	維	畏	案	哀
換	冠	釜	括	確	角	崖	塊	改	画	禍	架	加	乙	殴	縁	怨	益	泳	右 ^カ	印	慰	胃	暗	挨
敢	卷	鎌	活	獲	扞	涯	楷	怪	芽	靴	夏	可	俺	桜	艶	宴	液	英	宇	因	遺	尉	以 ^カ	愛
棺	看	刈	喝	嚇	革	街	解	拐	賀	寡	家	仮	卸	翁	汚 ^カ	媛	馭	映	羽	咽	緯	異	衣	暖
款	陷	干	渴	穫	格	慨	潰	悔	雅	歌	荷	何	音	奧	王	援	悅	榮	雨	姻	域	移	位	惡
間	乾	刊	割	学	核	蓋	壞	海	餓	箇	華	花	恩	横	凹	園	越	宮	唄	員	育	萎	困	握
閑	勘	甘	葛	岳	殼	該	懷	界	介	稼	菓	佳	温	岡	央	煙	謁	詠	鬱	院	一	偉	医	圧
勸	患	汗	滑	樂	郭	概	諧	皆	回	課	貨	価	穩	屋	忝	猿	閱	影	畝	淫	壺	椅	依	扱
寬	貫	缶	褐	額	覺	骸	貝	械	灰	蚊	渦	果	か行	億	往	遠	円	銳	浦	陰	逸	彙	委	宛

年 組 番 名前

表現を比べよう (1)

名前

1 分析的鑑賞①

次の語は、書の表現の特徴を表す語です。□ に対義語を書き、鑑賞に役立てましょう。

(教科書156ページ参照)

<p>【全体の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 強い 	<p>【線の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 太い 	<p>【字形の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 縦長
↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓
□	□	□
<p>● 重厚</p>	<p>● 長い</p>	<p>● 余白が広い</p>
↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓
□	□	□
<p>● 穏やか</p>	<p>● 直線的</p>	<p>● 丸みがある</p>
↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓
□	□	□

2 次の古典教材の同じ文字どうしを比較し、次の観点から見たときの違いを挙げましょう。

㉔と㉕の比較		㉓と㉔の比較		㉑と㉒の比較		
㉕ 鄭義下碑	㉔ 牛櫛造像記	㉓ 自書告身	㉔ 雁塔聖教序	㉑ 孔子廟堂碑	㉒ 九成宮醴泉銘	
有	有	其	其	遠	遠	古典教材
道	道	有	有	同	同	全体の違い
						線の違い
						字形の違い

九成宮醴泉銘 (1)

名前

1 直感的鑑賞

「九成宮醴泉銘」を見て、どのような印象を受けましたか。連想したことなどを書きましよう。

--	--	--

2 「九成宮醴泉銘」の筆者と書かれた時代を書きましよう。

筆者

--

時代

--

3 「九成宮醴泉銘」に関する設問に答えましよう。

- 「九成宮醴泉銘」は、唐の太宗が離宮に避暑に行ったときに、泉が湧き出したことを記念して建てられた碑です。この離宮の名称を書きましよう。
- 縦長で胴体を引き締めた字形を、何というでしょう。

--	--

4 欧陽詢に関する設問に答えましよう。

- 欧陽詢とともに弘文館学士に任ぜられたのは誰でしょう。
- 欧陽詢の楷書「九成宮醴泉銘」は、何と評価されているでしょう。

--	--

5 唐時代に関する設問に答えましよう。

- 欧陽詢が仕え、自らも書の名手として知られる唐の二代目皇帝は誰でしょう。
- 欧陽詢・虞世南・褚遂良の三人を合わせて何というでしょう。

--	--

九成宮醴泉銘 (2)

名前

1 に言葉を入れ、「九成宮醴泉銘」の特徴を説明した文章を完成させましょう。

● 縦長で、向かい合う縦画が内側に反り、引き締まった字

形 による整然として隙のない書です。

● 点画は 的で、分間布白や懐の広い構成で書かれています。

清泉

● 「九成宮醴泉銘」の特徴を、下の「清泉」に記号や言葉で書き込みましょう。

2 分析的鑑賞

「九成宮醴泉銘」の特徴について教科書や学習したことを参考にまとめましょう。

全体	線	字形	構成

(教科書156ページ参照)

【なぞり書き】

「九成宮醴泉銘」の字形や雰囲気をつかえましょう。

四方遶乎立年撫臨
億兆始以武功壹海

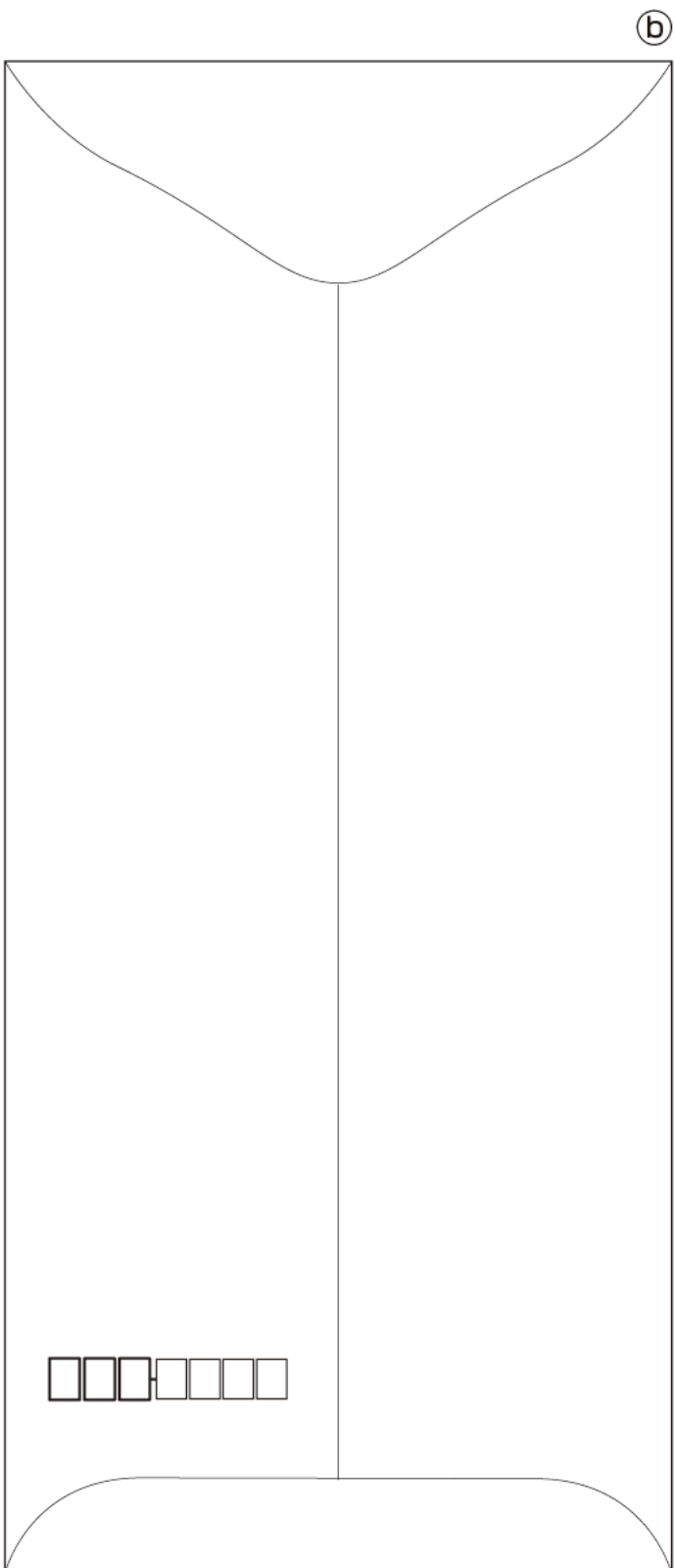
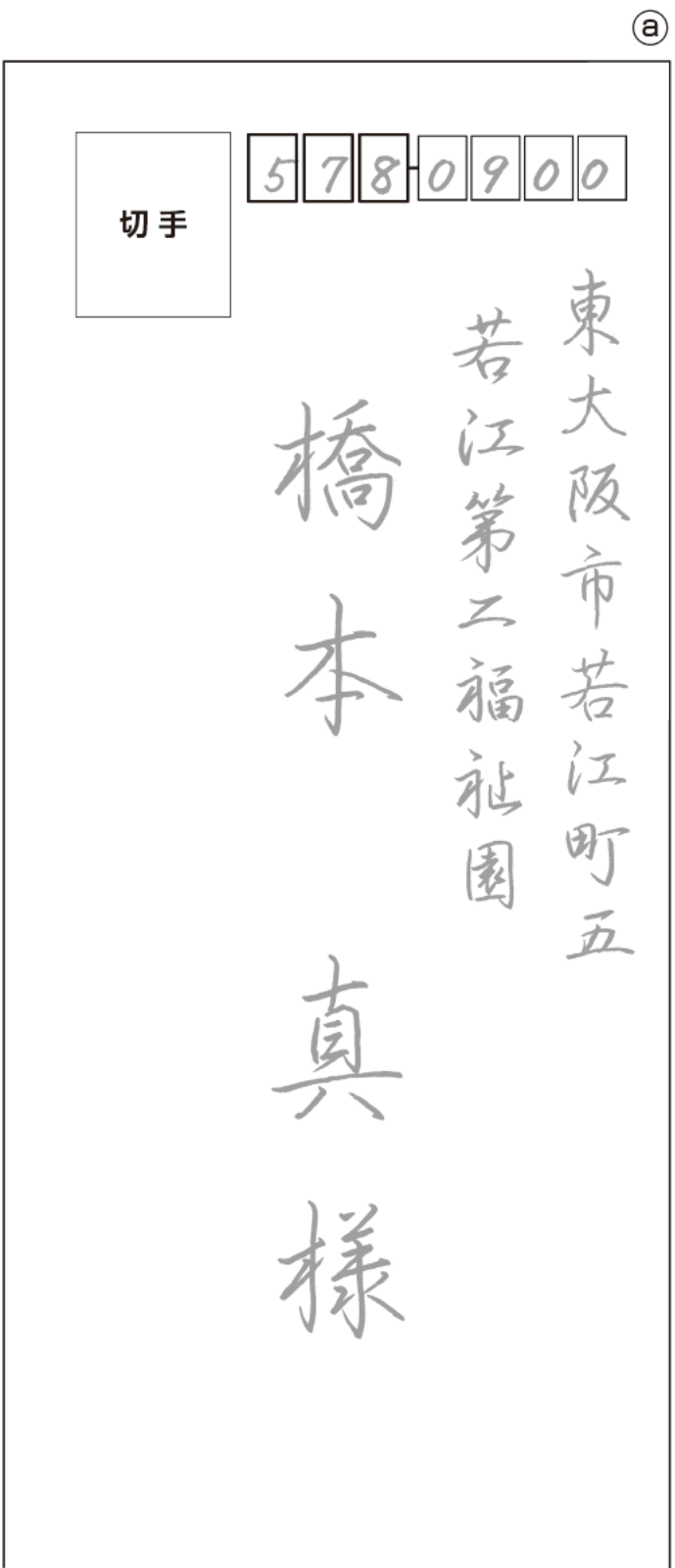
3 総合的鑑賞

人物や時代背景の学習、臨書・鑑賞を通して、「九成宮醴泉銘」の印象がどのように変わったか、学習の感想を含めて書きましましょう。

改まった場面で(1) 封筒(縦)の書式

名前

- 1 右側①の封筒の表書きをなぞりましょう。
- 2 左側②の封筒の裏面に、差出人として自分の住所と名前を書きましょう。



注意する点

書く順序と文字の大きさ

- 宛名と差出人は次の順番で書く。文字の大きさもこの順にすると、整えやすい。

- ①相手の名前
- ②相手の住所
- ③自分の名前
- ④自分の住所

書く位置

- 相手の名前は封筒の中央に書き、住所は名前よりも少し高い位置から書き始める。行頭はそろえるか、二行目をやや下げる。

- 自分の住所と名前は、封筒の中央もしくは左側に、上から三分の一程度の位置から書き始める。

名前の書き方

- 名前の文字数によって、字間のとり方が変わることにも注意する。(教科書125ページ参照)

改まった場面で(3)
贈答用語の書き方

名前

- 1 「御祝」を鉛筆(または小筆や筆ペン)でなぞりましょう。
- 2 「御祝」を書きまじょう。

御祝 御祝

- 3 右側①ののし袋の文字(上書き)をなぞりまじょう。
- 4 左側②ののし袋に、右側の文字(上書き)を書き写しまじょう。

(上書きの名前は、自分の名前にしてもかまいません。)

注意する点

書く順序

- ①「御祝」
- ②自分の名前

書く位置

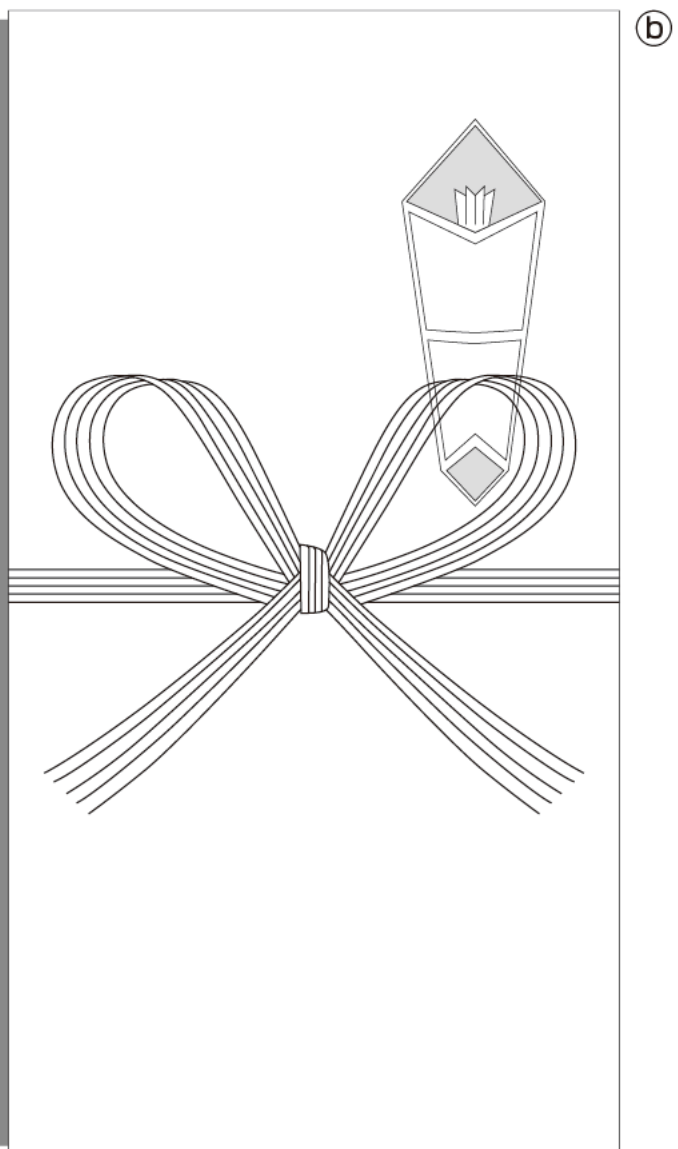
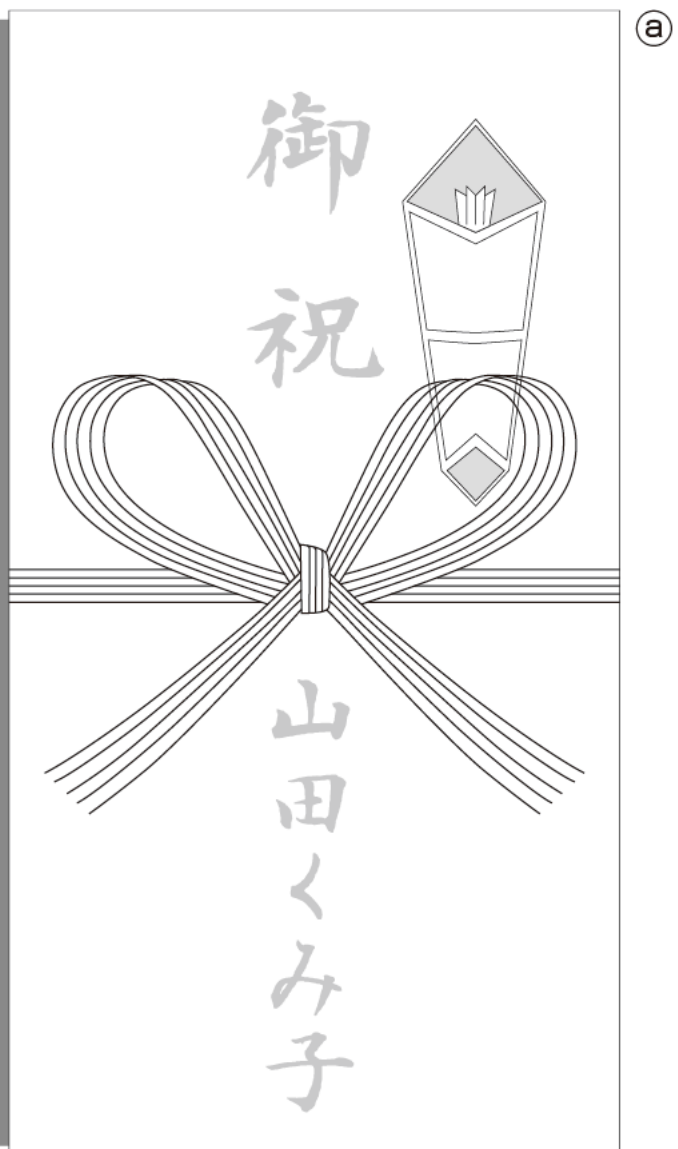
- ・「御祝」は、自分の名前とともに、文字の中心をそろえて、中央に書く。
- ・「御祝」の上部や名前の下部には、一センチ程度の余白を設ける。
- ・水引には、文字がかからないようにする。

文字の大きさや墨色

- ・「御祝」は大きめにし、自分の名前は、それよりも小さめに書く。
- ・一般的な祝儀のときは墨で書き、不祝儀(御霊前など)は、薄い墨で書く。

名前の書き方

- ・名前の文字数によって、字間のとおり方が変わること注意到する。(教科書125ページ参照)



創作カード

月 日 ()

自己評価・感想	<ul style="list-style-type: none"> 作品構想のスケッチ ● 字形・字配り、余白 ● 用具・用材 ・ 筆 ・ 墨色、潤滑<small>あへつき、うるおやか</small> ・ 紙など 	作品の大きさ・形式	もとにする作品	表現したいポイント	出典・作者名	書きたい言葉や詩文、短歌、俳句など	年 組	番	名前

- 筆…
- 墨…
- 紙…